

◇◆真理の探究メルマガ◇◆

%name%さま

こんにちは、西です。

気づいたらもう 11 月。

早いもので、この時期になると街ではクリスマスソングなんかながらがちらほら流れ始めたりして一気に年の瀬の雰囲気醸し始め、

そして気が付いたらあっという間に年が明けているという、もうそんな時期ですね（苦笑）

新しい年を迎えるといえば、新しい気持ちで新しいことにチャレンジしようかなという気持ちが 1 ミリくらい芽生えてくることもあるんじゃないかと思いますが、

僕は個人的には、年明けよりもむしろ、今のこの時期（11～12 月）を最も大事にしていて、

この時期に“良い準備”をできた人だけが、年明けの新しいチャレンジを成功に導けると思っていますし、過去の経験上、実感もしています。

感覚的には、年明けから新しいことをスタートするのではなく、

この時期から準備を進め始めて、年明けの“前には”もうスタートを切っている、くらいでちょうどいいんじゃないかと思っているくらいです。

で、年明けにはもうその“流れができてい”ってというのが理想かなと。

これは体感したことがある人が多いと思いますが、

年明けの新しい気持ちとか、「今年こそは」というなんだか根拠のないやる気が出てくる状態ってというのは、

文字通り、特に根拠はなく、雰囲気であり、風味なので、

そういう風味は一週間もすれば、味がしなくなってくるわけです。

1月も中旬に差し掛かった頃にはいつものような生活が始まり、いつもの日常に引き戻されて、結局いつもと変わらない毎日を過ごす、、、ということがよくあるわけです。

だからこそ。

だからこそ、ですよ。

そういう根拠のない謎のやる気が出てくるようなタイミング、こういうのが人によってどこかのタイミングで訪れるわけで、年明けというのはその最たる例なのですが、

その時に「使える」環境が整っていないと使えないので、いつでも環境を整えておくっていうのは割と大事かなと思うのです。

「チャンスとは、川上から流れてくる大きな桃のようなものだ。」

と、桃太郎の物語になぞらえて、チャンスというものの本質を誰かが喩えていたのですが、正しくその通りで、

流れてくる桃を拾わなきゃ流れていってしまっただけで二度のそのチャンスには恵まれないし、

巨大な桃を拾って家まで持って帰る、っていうのはおばあちゃんにとっては割とキツイ労力であることは想像に難くないし、

実際の桃太郎の元となる物語では、実は桃から桃太郎が生まれるのではなく、持って帰った桃を食べたおばあさんとおじいさんが若返って、できた子どもが桃太郎なんだけれども、

「なぜ若返ると子どもができるのか？」

と子ども達に聞かれたときに、どう答えればいいのかやらと困った大人が多かったそうで、今の「桃から出てきたことにする」という話しに変わったらしいのですが、

ともあれ、元のストーリーはこんな感じで、おばあさんの“チャンスをつかむ”ための行動は、単に運よく桃が流れてきたから、というわけではないのです。

まず拾う、

そしてその巨大な桃を苦勞して持って帰る、

得体のしれないものを食べる、

なぜか若返る、

仲良くする、

桃太郎誕生、

と、少なく見積もっても、これだけの条件が満たされないと桃太郎は生まれていないわけで、

目の前の奇天烈な出来事にも興味を持つメンタリティがなければ桃を拾うという行動に現れなかっただろうし、ましてや食べようなんてことは思えないだろうし、

日々体力と気力が衰えないような生活をしていないと重たい桃を家まで持ち帰ることはできないかもしれないし、

老人になるまでこの夫婦が仲良く過ごせていなければ、若返ったときに仲良くできなかったかもしれない。

結果、桃太郎は生まれてこなかったかもしれない。

ここから、チャンスを掴むためには、掴めるだけの準備を日頃からしておかなきゃいけないんだ、ということを教訓にする人もいると。

まあそれはさておき、やる気さえ伴えば、いつでも進められるように準備しておく。

そういうプロジェクトを自分の中でいくつか持っておく。

そうすれば、やる気が伴った段階でそこにリソースを集中投下して仕上げていく、ということが可能になるわけで、この意識はけっこう大事なかなと思うのです。

で、これは完全に個人的な事なんですけれども、僕の場合は1年の中で最も「謎のやる気」が湧いてくるのはこの時期（10～11月）ということが長年の自己分析からわかっているので、

前置きが長くなりましたけれども、今回はこの真理の探究メルマガの読者の方を対象にした新しい企画をスタートしようかなと思ひまして、

その簡単な告知になります。

僕がメインの事業の電験関連以外で大きな企画をスタートするのは、もう何年ぶりになるかわからないくらいですが、

その期間も別に何もやっていなかったわけではなく、もちろんこうして真理の探究というメルマガを発刊したり、

日々の勉強や企画考案なんかも地道にずーっと習慣的にやってきたわけですが、

こういう準備はこれまでもやってきて、「タイミング待ち」のプロジェクトっていう形ですと温めてきたわけです。

その温めてきたプロジェクトの一つを今回形にしようということで、今回やりたいのは、

“お金”

についてのアレコレです。

#### ■資格に合格することと、お金を稼ぐことの違い

僕は以前から少し不思議に思っていたことがあって、福沢諭吉の『学問のすゝめ』という超有名なタイトルがありますが、あの書き出しをご存じでしょうか？

「天は人の上に人を作らず、人の下に人を作らず」

という文言が学校の教科書なんかに切り抜かれているので、あたかも人類平等を謳っているような印象を受けますが、実際にはそこから続く文章としては、現代語に要約すると、

「天は人の上に人を作らず、人の下に人を作らず、とされている。

だが、世間を見渡すと貧しいものもいるし富める者もいる。

その違いはどこから生まれているのだろうか？

それは学問によってである。」

というような趣旨のことが書かれていて、富を得たいのなら学問に励めと、文字通りの意味での「学問のすゝめ」なわけですが、

これ自体は僕はある程度、納得感を持てるわけです。

全体の傾向を見た時に、勤勉で学を修めた人のほうが、富の総量は多い、平たく言えば稼ぐお金の量は増えるし、

今でもよく言われる、高卒と大卒の間では生涯賃金に 5,000 万円以上の差がつくというデータも出ていて、

だから大学には進学したほうがいいに決まっている、というのが一般論ですが、  
(この一般論には僕自身は反対意見を持っていますが、それは今回は脇に置いて...)

やっぱり、“傾向として”学問を修める、要はたくさん勉強したほうが富を得られる可能性は高くなるのは事実だと思うのです。

だけれども一方で、上記は全体をざっくりみたときの、あくまで“傾向”であって、

もう少し視点を現実目線に狭めた時に、

めっちゃ勉強していて頭も良いのに、大した収入を得られていない人、っていうのはざらにいて、

国内最難関の司法試験に合格して弁護士の資格まで得たのに、開業して全く稼げないまま廃業に追い込まれるような人もざらにいます。

一方で、大した勉強ができなくて高校にもいかず中卒だけれども、事業で成功して富を得た人、なんていうのも経営者の世界ではよく聞く話です。

確かに、全体的な傾向として「学問を修めるほど富を得る」というのは事実だけれども、

一方で現実的に一人の人間として視点を狭めた時に、上記のような逆転現象みたいなことも普通に存在していて、

「これが何によって生まれているのか？」

と。

ハッキリした理由は何なのかと。

つまり、こういう逆転現象みたいなことがさらに起きているのは、

学問の有無自体は、あくまで「傾向」であって、それが直接的に富を生み出しているわけではなく、単に1つの要素に過ぎないものだろうと。

そう考えないと、この世で最もお金を稼いでいるのは大学の教授みたいな人じゃないとおかしくなるわけですが、

現実を見れば、大学教授は確かに一般的に見れば高収入の部類に入るけれども、めちゃめちゃ金持ちって言うわけでもない。

学問のレベルが低いにもかかわらず、もっと富を得ている人は山ほどいるわけです。

学問のすすめはよくわかる。

それは確かにそうなんだけれども、じゃあ現実に生まれてくるこの差。

学問を極めた人よりも、大した学を持たない人が富を得ている現実がある。

この差はいったいどこから生まれるんだろうか？

と。

この差がわかっていないと、現実に富を得ることも難しくて、

学んでも学んでも、一向に豊かにならない、という厳しい現実が待っているのではないかと、そう思うのです。

で、実はこれに関してはもう僕なりの「答え」は見つけていて、

それは、人々が“何に対してお金を払っているのか？”ということに着目すれば明らかなので

すが、

人々は、物やサービスの「価値」に対してお金を払っているわけ“ではない”ということ。

一般的には、ビジネスの世界でも「価値」を提供して、その対価として「お金」を受け取ることができるんだ、

と当たり前のように言われてきているわけですが、当たり前と言われすぎて逆に疑うことすらしなかったわけですが、

実際に現状を見てみると「本当にそうか？」と。

本当にそれでお金の流れを理論づけられるのか？と。

個人的には、これは上記の「学問」と「お金」と同じくらい、ざっくり傾向を見ているに過ぎないと思っていて、

もちろん、価値が高いほうがより多くのお金を受け取ることができる、という“傾向”はあるけれども、それは直接の要因ではないだろうと。

もっと直接的な“何か”がある。

ということで、今回この「富」という部分をメインテーマにした講座を開講しようと計画していて、

・結局、富を得るために本当に必要なのは何なのか？

これを「学問以外」の視点で、

つまり、『学問のすゝめ』から言われているように、そして僕らが当たり前にならされてきているように、より大きなお金を稼ぐためには勉強が大事である、

というのはもう何度もお伝えしてきたし、それはもちろん事実だし、もう当たり前のこととして認識している人がここには殆どだと思うのだけれども、

(僕自身が過去そうだったように) 学んでも学んでもお金が増えない、っていう現実も普通に存在するわけで、それが何によってもたらされているのか、

何が足りていないのか、何が満たされていないのか、

そういう部分に着目して、

「本当の意味で富を得るために必要なものがなんなのか。」

というのをテーマにした講座。

それを近いうちにやりたいと思います。

そして、なぜ今それをやりたくなったのかというと、僕自身はこれこそが人生を幸福に向かって舵を切るための“ファーストステップ”だと思っているからです。

## ■余裕

僕が常日頃から大事にしているのは、

“余裕を作る”

ということです。

これにはいろんな見方があって、例えば「精神的な余裕」も余裕ですし、「時間的な余裕」も余裕の一つです。

毎日せかせかと目の前の事に追われて、本当にやりたいことができない状況っていうのは、精神もすり減らすし、もちろん時間もカツカツなので、本当にやりたいことをやる余裕ができない。

この「余裕」というのが人生を幸福に向けて舵を切るための一つの大きな条件だと僕自身は思っています。

精神に余裕があって、時間にも余裕がある。

これは別に、暇を持て余しているとか、何もやらない時間が長いとか、そういう表面的な意味ではなく、

自分の本当にやりたいこと、心の底から求めているもの、

僕は“ボイス（心の声）”と呼んでいます、そのボイスに従って生きている状態であれば、

たとえ傍から見れば忙しそうにしている、余裕がなさそうな見え方をしている、その人にとっては心から求めていることをやっているだけなので、

精神には余裕があるし、自分の幸福のための行動に時間を使っている、こういうのは本来は時間に余裕がなければ成立しない行為です。

その意味で、精神的な余裕、時間的な余裕、こういう「余裕」を作るとするのは幸福へ舵を切るための必須条件ではないかと思うのです。

そして、それらの余裕を極めて簡単に作り出してくれるものが「金銭的な余裕」、つまりお金ですね。

誰もが一度は夢見るように、例えば宝くじで10億円を当選して、それを計画的に運用していけば、おそらくその人は一生労働しなくても楽に生活が成り立つでしょう。

高額当選者の中には、計画的な使い方ができずにあっという間に浪費して数年で破産してしまう人も少なくないみたいですが、

まあそれはさて置き、このくらいの金額を計画的に使えて、日々の労働から解放されれば少なくとも「時間的な余裕」は確保されるし、無理して働かなくていいという状況は「精神的な余裕」も担保してくれるかもしれません。

お金っていうのは、現代社会においてそういう強力なツールとしての役割があるのですが、逆に言えば「その程度」のものでしかないというのも事実です。

人は、時間に余裕があるから幸せというわけではないし、精神的に余裕があるから幸せというわけでもなく、

“ボイス（心の声）”に従って生きているからこそ幸せに向かっているんだ、というのが僕の考えです。

なので、「お金を得る」というのは別にゴールでもなんでもないし、むしろ“スタート地点”と言っても良いくらい、真理の探究においては手前も手前の段階です。

いわばファーストステップ。

日々の生活の中から、まず余裕を確保する。

そこがスタートで、そのためにはお金を得るのが最も簡単で、かつ非常に強力で便利なツールだから、そこを目指すことを僕は個人的に推奨しているのですが、

世間では、たくさんのお金を得ることそのものをあたかもゴールのように考えている人が少なくなくて、

もうこれまでのメルマガを読んでくれている人は、そんなのは別にゴールでもなんでもないし、本当に大事なものは「そこから」でしょ、っていうのを理解してくれていると思うのですが、

だけれども現実問題として、まずはそこに辿り着かないことには、そこから先の話が進まない。

なのでこの『真理の探究』が始まってもう半年で、今回初めて大きな企画を実施することになったのですが、

初めてだからこそ“ファーストステップ”となる「お金を得る」ということにフォーカスした講座を実施しようと思ったわけです。

世間では、お金を稼ぐということがなんだか凄いことで、とても自分では適わないし、何か特別な才能が必要なんじゃないか、というような雰囲気蔓延していて、

そういう雰囲気に気圧されていると永遠に必要な十分を稼ぐことができないというのも事実なのだけれども、

原理原則を知れば、やるべきことが見えてくるし、やるべきことが見えてくればそれを磨き続けることで確実に「スキル」として昇華されるし、

一定以上のスキルがあれば、むしろこの何もかもが便利に使えるようになった現代社会において「稼げない」ということの方がおかしいことに気が付く。

そして、「お金を得る」なんてことは別に何も特別なことではない、特別視させられていたから特別なものに見えていただけであって、

ふたを開けてみれば、ただの人生の中の一作業でしかないし、僕らはそれを早々と実感して“その先”を目指していけばいいんだと。

今回の企画はその駆け出しにしたいと思っています。

ということで、まだまだ詳細は固まっていないですけども、近いうち（遅くとも年明け前には）にやることにはなると思うのでその告知でした。

詳細はまた追ってお知らせいたします。

では、今日はこの辺で。

最後までお読みいただきありがとうございました。

西

-----  
『真理の探究』会員サイトはこちら

URL : %SERVER%sp/%seller\_id%/%item\_id%/member/top.html

メールアドレス : %mail%

パスワード : %password%

※バックナンバーはこちらからお読みいただけます。

運営者情報

<https://jscatch.com/tokushoho/>

メルマガの配信解除はこちらから

[%cancelurl%](#)  
-----

